



うめだファティリティークリニック

山下 能毅 先生

大阪医科大学医学部を卒業後、北摂総合病院産婦人科部長・大阪医科大学産婦人科病棟医長、医局長、講師として、不妊治療や腹腔鏡手術に積極的に取り組む。2014年、宮崎レディースクリニックの副院長に就任し、2017年4月、同院の院長に。

病院選びの目安にも…… 不妊治療に必要な検査とは？

- 医療機関によって
- 検査費用が異なることも。
- HPなどで比較検討を

日本には不妊専門の病院が数百軒あるといわれ、妊活をするのにより環境が整っています。赤ちゃんを希望されるご夫婦は、不妊専門医がいる専門病院に相談されるのが妊娠への近道です。

不妊治療は高額な費用がかかるイメージがあるかもしれませんが。たとえば初診で必要な基本の検査のなかにも「健康保険が適用される検査」と「自費の検査」があります。検査費用の設定は病院の方針によってさまざまです。保険適用の検査と自費検査をしっかりと分けて提示している病院もあれば、保険適用の検査と自費検査を組み合わせたものをワンセットにして、自費検査として設定している病院もあります。また、同じ自費検査でも病院によってそれぞれ費用に違いがあります。

治療費の設定が異なっている場合は、技術や使うお薬の違いなども考えられます。検査は同じ検査会社に依頼していることも多く、検査の質自体に大きな違いはありません。病院のホームページ

などで費用を比較して、ご夫婦が希望する治療スタイルに合わせて病院を選ばれるといでしょう。

当院は保険適用の検査と自費検査をそれぞれ分けて、患者様のご負担なども考え、 unnecessary 検査はできるだけ省くようにしています。初診の検査は基本的に保険適用の検査から実施しています。また、自費検査は患者さんの状態に合わせて、追加検査としてご提案したり、ご希望によってオプション検査として選択していただくことが可能です。不妊症の基本検査としては次頁の表のようなものがあります。

治療についても健康保険が適用されるタイミング療法から、一部適用の人工授精、全額自費の体外受精の流れを基本にして、その方の状態によってオーダーメイドな診療をご提案しています。「最初から体外受精をしたほうがいいのでは？」と思われる方もいるかもしれませんが、妊娠のメカニズムにはまだ解明されていないことも多く、心身や費用の面でも負担が少ない、タイミング法や人工授精で妊娠される方もたくさんいます。どのタイミングで妊娠するのかわかりません。

不妊治療をはじめの前に、ご夫婦でどのように治療を進めていきたいのかをよくご相談されて、

● 不妊治療に必要な検査の種類

女性側の 基本検査	必ず行われる検査・・・保険適用	
	子宮卵管造影検査	女性側の不妊原因として一番多い卵管因子を調べます。
	通気・通水検査	卵管の詰まりなどを調べる検査で、軽度の卵管狭窄であれば治療も可能です。
	ホルモン検査	採血し FSH、LH、エストロゲン、プロゲステロン、プロラクチンの値を調べます。
	経膈超音波検査	子宮の形態的な異常や卵巣の異常、排卵時の卵胞の大きさを計測して排卵時期を予測します。
	尿中 LH 検査	排卵が近づくと分泌される尿中の LH を測定し、排卵日を予測します。
	ヒューナーテスト	前日または当日朝の性行為後の子宮頸管の粘膜を調べて、精子の運動状態や精子の受け入れ状態を調べます。
必要に応じて行われる検査・・・※自費診療		
AMH (抗ミュラー管ホルモン) 検査 ※ 9440 円	採血し発育過程の卵胞から分泌される AMH を測定し、卵巣の予備能をチェックします。	
抗精子抗体検査 ※ 6600 円	精子を異物とみなしてしまう抗体が女性の体にないかを採血し調べます。	
男性側の 基本検査	必ず行われる検査 (保険適用)	
	精液検査	自宅や院内で採精した精液中の精子濃度、運動率、奇形率などを調べます。

※自費診療の金額はうめだファティリティークリニックの場合です

ご希望に合った病院にかかることが大切です。

● ● ● ●
検査以外に行っている
独自の取り組みなども
病院選びの参考に

妊娠には運動や食事、ストレスなど毎日の生活習慣が大きくかかわっています。そのため治療以外にさまざまな取り組みをしている病院もあります。当院は近年注目されている「プレコンセプションケア（妊娠前から健康管理をして、妊娠する体づくりを目指す）」の考え方を取り入れて、さまざまな側面でサポートしています。

たとえば、骨盤内の血流を上げて卵巣の若返りが期待できるエクササイズ「リズムミックボクシ

ング®」をはじめ、レスベラトロールやリーカルニチン、DHEAといった妊娠に有効なサプリメントのご提案、さらに冷え性でお悩みの方にはご希望により鍼灸院を紹介させていただくなど、妊娠にプラスになると考えていることは、当院のホームページなどでも随時ご紹介しています。さらに今後は栄養士による食事指導なども行うていく予定です。

妊娠にはメンタル面も影響しますから、治療以外にも妊娠しやすい体づくりをサポートしてくれる病院を選び、できることは積極的に取り入れて、「だから私は大丈夫!」という強い気持ちで妊娠に臨むことも大事だと思えます。これまでたくさん患者様と接してきたなかで、そういう方は赤ちゃんを授かりやすいと実感しています。

各病院の検査費用などを比較して ご夫婦の治療方針に合った病院を



〈取材協力〉うめだファティリティークリニック
大阪府大阪市北区豊崎 3-17-6



山下先生にお答えいただいた
これまでの記事はこちら